

片山町内会報

発行日(2015年)
平成27年 5月 9日
第19号

平成27年度片山町内会総会 4月19日(日)午後2時(片山町内会館)

片山町内会総会は、会員総数445名の内、本人及び委任状合せて229名、過半数の出席で成立し、先に配布していた議案全てを承認いただきました。

定刻になり、吉田総務から過半数の出席で総会が成立すると告げられ、議長選出方法を諮ったところ執行部一任との発言があり、ほかに無かったことから齋藤辰夫副会長を議長に指名し議事を進めた。

議長は議事録署名人2名の選出方法を議場に諮ったところ議長一任の発言があり、ほかに無かったことから、谷地田正己氏と齋藤光雄氏を議事録署名人に指名し議事を進めた。

はじめに下総慎一郎会長が挨拶し、町内会活動への支援・協力に対するお礼を述べ、現役員及び監事を、主な担当業務等を含めて紹介した。続いて、前会長谷地田恒夫さんから引継、皆が参加できる開かれた町内会を目指して活動してきたこと。豪雨で崩落した神社北側駐車場の法面工事が完了したこと。新橋下の公園が完成し供用されていること。「ひまわり会」等各団体の活動に感謝する旨述べた。さらに、先人の残してくれた貴重な財産から得られる財産区収入を、会費と共に有効に活用していきたい。皆さんのご意見・ご要望を聞きながら町内会を

盛り上げていきたい等と挨拶した。

続いて事業報告(吉田総務)、決算報告(齋藤敏典副会長)、会計監査報告(北野仁監事)から其々報告され異議なく承認された。

事業計画案及び予算案は吉田総務から一括提案され、前年度総会で火災共済の増額を求められた件については、役員会で審議した結果、共済は不幸にして災害に遭われた方にお見舞いを差し上げると言う趣旨からの物なので現状のままでよいとの結論になった旨説明し、会長挨拶で述べられているように、貴重な財産区収入をより有効に活用する観点からの結論ということで了承された。また、神社境内にあるケヤキの大木が近隣住民に被害を及ぼしており、このまま放置する訳にはいかないことから高額の予算になったこと。他に、ゴミステーションの交換や修理に関する予算、街灯のLED化を三か年計画で推進する等詳細に説明し全議案が異議なく承認された。

その他の議事は、城西小学校カレンダーに関する件、クリーンアップでトラック回収に関する件、役員の名前が分かるように表示してほしい等要望が出されました。

最後に、出席者全員に恒例の地域振興券を配布して総会を終了した。



町内一斉クリーンアップ 4月19日(日曜日)

総会当日午前8時から実施され、八坂・1丁目・2丁目の参加者は八坂神社集合、3丁目は旧商業高校入口付近に集合。挨拶の後、清掃作業開始。例年は天神緑町以外は全て北秋田地域振興局県税部前が清掃作業後の集合場所でしたが、町内会館近くの範囲を清掃した方々は直接会館駐車場に回収塵を持ち込むことにしたことから、県税部前は例年より寂しい集まりとなった。3丁目は子供会が解散し子供と父兄の参加が無かったことから例年の3/5程度の参加数でした。

今年の収集量は例年の2/3程度と少なかったが、農機具用タイヤ・車のホイール・機械用高圧ホース・瓶・缶・ペットボトル・酒パック等々が不法投棄されていた。片山3丁目から沼館方向に向かう側道東側には、特定の人々が大量投棄したと思われる酒パックが敷き詰められるように散乱していた。

クリーンアップにご協力ありがとうございました。

(住民一丸となって不法投棄撲滅のため監視を強化しましょう。)



片山寸見(4月26日)



城西小学校防災キャンプ (26年10月18日)

城西小学校で5年6年生を対象にした防災キャンプが17・18日二日間にわたり開催された。二日目の体験学習会に片山町内会にも参加要請があったことから、役員の太田勝典・吉田好作が参加したので、その内容をお知らせします。

初めに、秋田大学地域創生センター教授「水田敏彦」氏から、地震が起きる原因等が説明され、世界で起きる地震の約20%が日本で発生している事や、近年の秋田県で起きた地震などをプロジェクターを使用して説明された。秋田県に関する地震では、日本海中部地震・二ツ井地震・強首地震などが説明され、大館でも西暦857年、今から1158年ほど前に大きな地震のあったことを説明した。地震には津波が伴うことが多く、海辺は勿論だが川を遡ることから注意しなければならないこと等を話し、災害に対する知恵を持っていれば被害を最小限にすることができる等と話した。

地震は予測不能だが、豪雨災害などは早期に安全な場所へ避難することで、人的被害はほぼ100%防ぐことができる。自分の身は自分で守るということを念頭に、ハザードマップなどを活用して日ごろから避難場所などを確認しておくことが必要だと話した。

豪雨避難に際し、防災グッズを準備しておくこと(余計なものは持たない)。足元に気を付ける。周りの人にも呼びかける。長靴は履かないこと等と話した。

最後に、災害は「まさか」ではなく、「いつか」起きるものと認識しましょうと締めくくった。



次に、大館消防署員6人から「救急救命」についての研修を受け、倒れている人を見つけたら、周りの安全を確認し、大丈夫ですか等と声がけて反応を確認する。反応が無いときは救急車を呼ぶと共に呼吸や心臓の動きを確認し、心肺停止状態のときは、胸部圧迫を行い近くにAEDがあったら、胸部圧迫を続けながら、協力者がいるときはAEDの準備を行う。

AEDは電源を入れると接続方法などの音声ガイドがあることから、表示されている絵を見ながら音声ガイドの指示に従い取り扱う等と、実物と同様の機材を使用して訓練が行われた。

以前は人工呼吸を薦めていたが、現在は胸部圧迫を推奨しており、世界標準となっているそうです。

胸部圧迫は、乳首を結ぶ線の間より少し下方を、一分間に100回の速さで両手を添えて強く行うのが良いとされています。強く押すことで肋骨が折れないかと質問したら、心臓を動かし命を救うためだから、折れることもあるがためらわずに胸部圧迫を続けることが大事と説明された。また、胸部圧迫することで、血液を脳などに送ることができ脳死を防ぐことが出来ることも説明された。

人形を使い、胸部圧迫やAEDの使用方法を交代で体験し二日目の防災キャンプを終了した。

一日目は、段ボールで家を作り、夜間は懐中電灯を使用して校内探検をした等と話していた。



胸骨圧迫訓練の児童と太田役員 AEDパッド張付訓練の児童

神社境内にあるケヤキ大木の現状



お知らせ・お願い

- ◎アメシロ防除は、樹木の本数に関係なく年二回の防除代金が千円です。効果的に防除を行うためにも、樹木所有全会員の参加をお願い致します。
- ◎街灯は3か年計画でLEDに交換することになりました。古いもの故障したものから順に交換します。
- ◎交通の安全を確保するため、道路にはみ出している生垣の刈り込みや樹木の枝切をお願い致します。
- ◎神社境内のケヤキの大木等を段階的に枝払いや伐採することになりました。
- ◎町内会に対する要望などありましたらお聞かせ下さい。